



Cisco Unified Communications Manager サービスの問題

ここでは、Cisco Unified Communications Manager サービスに関連する最も一般的な問題の解決方法について説明します。

- [使用可能な会議ブリッジがない, 1 ページ](#)
- [ハードウェア トランスコーダが予期したとおりに機能しない, 3 ページ](#)
- [確立されたコールで補足サービスを使用できない, 5 ページ](#)

使用可能な会議ブリッジがない

症状

「使用可能な会議ブリッジがありません (No Conference Bridge Available)」というメッセージが表示されます。

考えられる原因

ソフトウェアまたはハードウェアの問題を示している可能性があります。

推奨処置

- 1 Cisco Unified Communications Manager に登録された、使用可能なソフトウェアまたはハードウェアの会議ブリッジ リソースがあるかどうかを確認します。
- 2 Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用して、Unicast Available Conferences の数を確認します。

Cisco IP Voice Media Streaming アプリケーションは、会議ブリッジ機能を実行します。次のトレースに示すように、Cisco IP Voice Media Streaming の 1 つのソフトウェア インストレーションで、16 の Unicast Available Conferences (3 人/会議) がサポートされます。



(注) サポートされるデバイスの数は、Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なります。次の場所で Cisco Unified Communications Manager の適切なバージョンのマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_documentation_roadmaps_list.html

```
10:59:29.951 CCM CallManager|UnicastBridgeControl -
wait_capabilities_StationCapRes - Device= CFB_kirribilli - Registered
- ConfBridges= 16, Streams= 48, tcpHandle=4f12738 10:59:29.951 CCM
CallManager|UnicastBridgeManager - UnicastBridgeRegistrationReq - Device
Registration Complete for Name= x08 0%0 - DeviceType= 50,
ResourcesAvailable= 16, deviceTblIndex= 0
```

次のトレースに示すように、1つの E1 ポート（WS-X6608-E1 カードには 8 個の E1 ポートがあります）によって、5 つの Unicast Available Conferences（最大会議サイズ = 6）が提供されます。

```
11:14:05.390 CCM CallManager|UnicastBridgeControl -
wait_capabilities_StationCapRes - Device= CFB00107B000FB0 - Registered
- ConfBridges= 5, Streams= 16, tcpHandle=4f19d64 11:14:05.480 CCM
CallManager|UnicastBridgeManager - UnicastBridgeRegistrationReq - Device
Registration Complete for Name= x08 0%0 - DeviceType= 51,
ResourcesAvailable= 5, deviceTblIndex= 0
```

Cisco Catalyst 6000 8 Port Voice T1/E1 and Services Module の次のハードウェアトレースは、カードの E1 ポート 4/1 が Cisco Unified Communications Manager に会議ブリッジとして登録されたことを示しています。

```
greece-sup (enable) sh port 4/1Port Name Status Vlan
Duplex Speed Type
-----
4/1 enabled 1 full -Conf Bridge
Port DHCP MAC-Address IP-Address Subnet-Mask
-----
4/1 disable 00-10-7b-00-0f-b0 10.200.72.31 255.255.255.0
Port Call-Manager(s) DHCP-Server TFTP-Server Gateway
-----
4/1 10.200.72.25 - 10.200.72.25 -
Port DNS-Server(s) Domain
-----
4/1 - 0.0.0.0
Port CallManagerState DSP-Type
-----
4/1 registered C549
```

Port	NoiseRegen	NonLinearProcessing
4/1	disabled	disabled

- Ad Hoc 会議または Meet-Me 会議で設定されている最大ユーザ数を確認し、この数を超過したために問題が発生したかどうかを判別します。
- [ロケーションの設定 (Location Configuration)] ウィンドウの [オーディオ帯域幅 (Audio Bandwidth)] フィールドの設定を確認します。コール帯域幅がこの設定済みの制限を超過している場合、会議は失敗します。この問題を解決するには、[無制限帯域幅 (Unlimited Bandwidth)] オプション ボタンを選択します。[ロケーションの設定 (Location Configuration)] ウィンドウの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』を参照してください。

ハードウェア トランスコーダが予期したとおりに機能しない

ハードウェア トランスコーダを Cisco Catalyst 6000 8 Port Voice T1/E1 and Services Module にインストールしましたが、予期したとおりに機能しません (共通のコーデックを持たない 2 人のユーザ間で通話できません)。

考えられる原因

Cisco Unified Communications Manager に登録された、使用可能なトランスコーダ リソース (ハードウェアである必要があります) がない可能性があります。

推奨処置

Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool を使用し、Cisco MTP Device オブジェクトの ResourceAvailable カウンタを表示して、使用可能なリソース数を確認します。

次のトレースに示すように、1 つの E1 ポート (WS-X6608-E1 カードには 8 個の E1 ポートがあります) によって、16 コールのトランスコーダ/MTP リソースが提供されます。



(注) サポートされるデバイスの数は、Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なります。次の場所で Cisco Unified Communications Manager の適切なバージョンのマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_documentation_roadmaps_list.html

```
11:51:09.939 CCM CallManager|MediaTerminationPointControl - Capabilities
Received - Device= MTP00107B000FB1 - Registered - Supports 16 calls
```

Cisco Catalyst 6000 8 Port Voice T1/E1 and Services Module の次のハードウェア トレースは、カードの E1 ポート 4/2 が Cisco Unified Communications Manager に MTP/トランスコーダとして登録されたことを示しています。

```

greece-sup (enable) sh port 4/2Port      Name      Status      Vlan
      Duplex Speed Type
-----
4/2              enabled    1            full        - MTP
Port      DHCP      MAC-Address      IP-Address      Subnet-Mask
-----
4/2      disable  00-10-7b-00-0f-b1 10.200.72.32    255.255.255.0
Port      Call-Manager(s)  DHCP-Server      TFTP-Server      Gateway
-----
4/2      10.200.72.25    -                  10.200.72.25    -
Port      DNS-Server(s)    Domain
-----
4/2      -                0.0.0.0
Port      CallManagerState DSP-Type
-----
4/2      registered      C549
Port      NoiseRegen      NonLinearProcessing
-----
4/2      disabled        disabled

```



(注) 同じ E1 ポートを会議ブリッジとトランスコーダ/MTP の両方に対して設定することはできません。

同じコーデックをサポートしない、低ビットレート コード (G.729 や G.723 など) を使用している 2 つのデバイス間で通話するには、トランスコーダ リソースが必要です。

Cisco Unified Communications Manager で、Region1 と Region2 の間のコーデックが G.729 に設定されているとします。次のシナリオが適用されます。

- 電話機 A の発信者がコールを開始した場合、Cisco Unified Communications Manager は、それが G.729 をサポートする Cisco Unified IP Phone モデル 7960 であることを認識します。番号が収集されたあと、Cisco Unified Communications Manager は、コールの宛先が Region2 にいるユーザ D であることを判別します。宛先デバイスも G.729 をサポートしているため、コールがセットアップされ、音声は電話機 A と電話機 D の間を直接流れます。
- 電話機 B (Cisco Unified IP Phone モデル 12SP+) の発信者が電話機 D へのコールを開始した場合、今回は Cisco Unified Communications Manager は、発信側電話機が G.723 または G.711 だけをサポートすることを認識します。Cisco Unified Communications Manager は、音声は電話機 B とトランスコーダの間は G.711 として流れ、トランスコーダと電話機 D の間は G.729 として流れるように、変換リソースを割り当てる必要があります。トランスコーダを使用で

きない場合、電話機 D は鳴りますが、コールに応答するとすぐにコールが接続解除されます。

- 電話機 B のユーザが電話機 F (Cisco Unified IP Phone モデル 12SP+) にコールした場合、リージョン間で使用するコーデックとして G.729 が設定されていても、2つの電話機は実際には G.723 を使用します。G.723 が使用されるのは、両方のエンドポイントがそれをサポートしており、使用する帯域幅が G.729 よりも少ないためです。

確立されたコールで補足サービスを使用できない

症状

コールが確立されましたが、補足サービスを使用できません。

考えられる原因

コールが確立されたが H323v2 をサポートしない H.323 デバイスで補足サービスを使用できない場合、MTP リソースの問題がトランスコーディングの問題の原因となることがあります。

推奨処置

- 1 Cisco Unified Communications Manager に登録された、使用可能なソフトウェアまたはハードウェア MTP リソースがあるかどうかを判別します。
- 2 Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool のパフォーマンス モニタリングを使用して、使用可能な MTP デバイスの数を確認します。

次のトレースに示すように、MTP を使用して H.323v2 をサポートしない H.323 デバイスで補足サービスをサポートすると、1つの MTP ソフトウェア アプリケーションで 24 コールをサポートできます。



(注) サポートされるデバイスの数は、Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なります。次の場所で Cisco Unified Communications Manager の適切なバージョンのマニュアルを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_documentation_roadmaps_list.html

```
10:12:19.161 CCM CallManager|MediaTerminationPointControl - Capabilities  
Received - Device= MTP_kirribilli. - Registered - Supports 24 calls
```

次のトレースに示すように、1つの E1 ポート (WS-X6608-E1 カードには 8 個の E1 ポートがあります) によって、16 コールの MTP リソースが提供されます。

```
11:51:09.939 CCM CallManager|MediaTerminationPointControl - Capabilities  
Received - Device= MTP00107B000FB1 - Registered - Supports 16 calls
```

Cisco Catalyst 6000 8 Port Voice T1/E1 and Services Module の次のハードウェア トレースは、カードの E1 ポート 4/2 が Cisco Unified Communications Manager に MTP/トランスコーダとして登録されたことを示しています。

```

greece-sup (enable) sh port 4/2Port Name Status Vlan
Duplex Speed Type
-----
4/2 enabled 1 full - MTP
Port DHCP MAC-Address IP-Address Subnet-Mask
-----
4/2 disable 00-10-7b-00-0f-b1 10.200.72.32 255.255.255.0
Port Call-Manager(s) DHCP-Server TFTP-Server Gateway
-----
4/2 10.200.72.25 - 10.200.72.25 -
Port DNS-Server(s) Domain
-----
4/2 - 0.0.0.0
Port CallManagerState DSP-Type
-----
4/2 registered C549
Port NoiseRegen NonLinearProcessing
-----
4/2 disabled disabled

```

- 3 Cisco Unified Communications Manager の管理の [ゲートウェイの設定 (Gateway Configuration)] ウィンドウで、[メディアターミネーションポイントが必須 (Media Termination Point Required)] チェックボックスがオンになっているかどうかを確認します。
- 4 Cisco Unified Communications Manager が必要な数の MTP デバイスを割り当てたことを確認します。